

最初のお話をします。

最近では和室のない住宅が増えているようですが、特に、新築のマンションにはほとんどありません。

和室が少なくなった最大の理由は、生活スタイルが洋式化してきたからであります。昔は、畳の上に座布団を敷いて座ったものであります。布団を敷いて寝ることも一般的でありました。今は、ソファや椅子に座り、ベッドで寝るという生活スタイルが多くなっています。

家具なども洋風になりまして、和室には合わなくなつたということもあります。そのほかには、畳を維持するためのコストがかかるということも理由の一つに挙げられています。

しかし、和室は本当に要らないのでしょうか。私は、そうは思いません。なぜなら、和室はいろいろな用途で使えるからであります。例えば、来客用のスペースとして使うことができます。布団を敷けば、寝室としても利用できます。さらに、和室は子供の遊び場や子育てスペースとしても最適だと言われています。

畳の材料となるイグサには、リラククス効果があるそうですから、横になるだけでもいいのであります。

こうした様々な魅力を持つ和室の良さを、ぜひ見直してほしいと思います。

それでは、次のお話をします。

皆さんはラジオを聴いていますか。私はほと

んど聴かなくなりました。昔は深夜放送をよく聴いたのですが、今は車を運転するときに聴くぐらいであります。

総務省がおよそ十万人を対象に調査をした結果が発表されています。それによりますと、ふだんラジオを聴いている人は三五・六%ということでありました。そして、聴く場所は、やはり車の中が一番多いということが分かりました。ラジオは、何かほかのことをしながら聴くことができるという特徴があります。しかも、様々な情報を得ることができます。災害時には正確な情報が必要ですので、ぜひ用意しておいてほしいものの一つであります。

しかし、ラジオを日常的に聴いている人はだんだん少なくなっています。特に若者のラジオ離れが進んでいると言われています。先ほど紹介した総務省の調査でも、そのような結果が出ていました。

一方で、この頃はスマホでラジオを聴けるようなアプリもあります。インターネットラジオというものであります。これが普及することによって、ラジオが若者にとって身近な存在になることが期待されているのであります。(丁)

6 級

まず初めに、生成 AI について考えてみたいと思います。

AI というのは人工知能ということですが、様々な分野で使われています。

医療現場におきましては、画像診断の分野が有名であります。また、教育分野におきましては、言葉で質問をすると、言葉で返事が返ってくるものがあります。家庭におきまして、レシピーの作成や、旅行スケジュールの作成にも使われています。

このように、AI を上手に活用することができれば、日常生活をとっても快適に過ごせると思います。

次に、アレルギーについて話したいと思いません。

先日、電車に乗っていましたら、若いカップルが豆乳アレルギーについて話していました。そのうちの一人がアレルギーという言葉を使っていた。私は、アレルギーのことを言っているのかなと思いました。

少し気になりましたので、スマホで調べてみました。そうすると、アレルギーというのは、アレルギーを引き起こす原因物質ということが分かりました。

主なアレルギーには、小麦や乳製品、ソバやエビなどがあります。(丁)